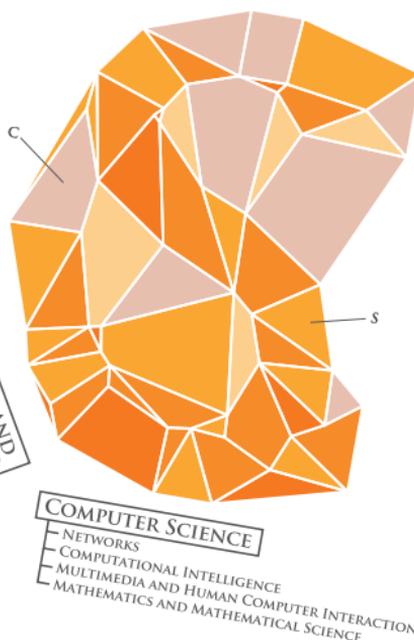
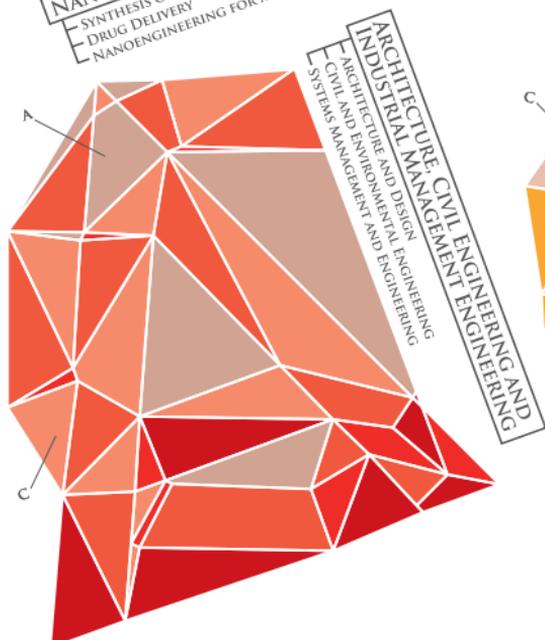
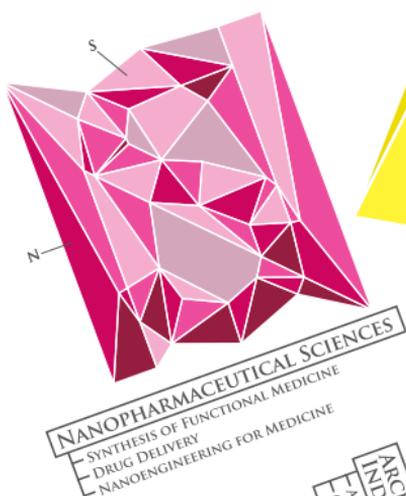
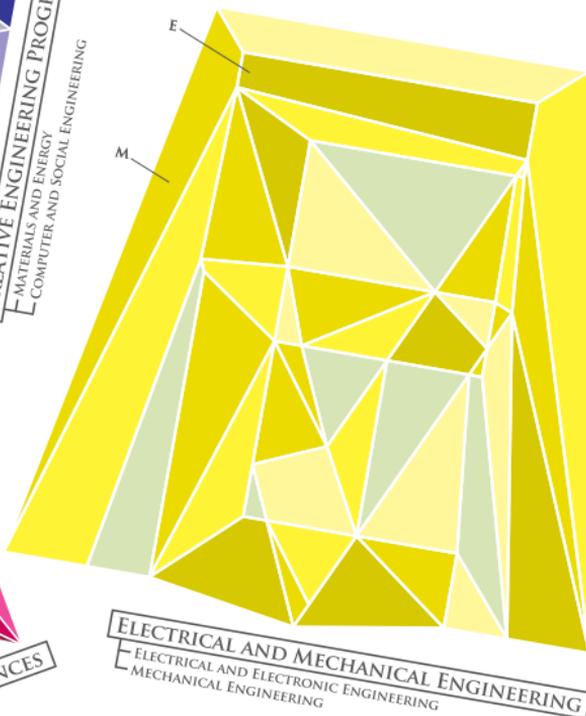
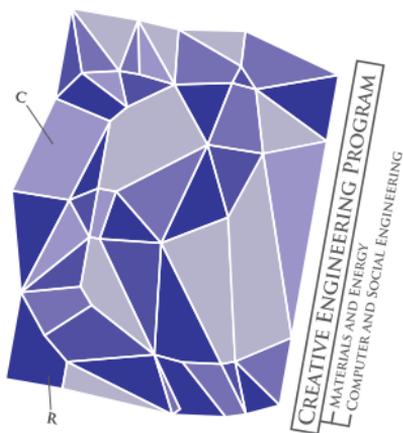
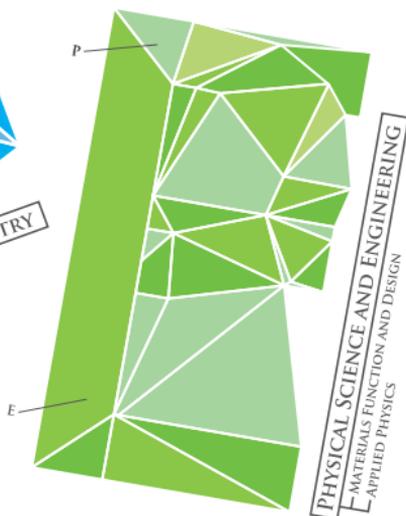
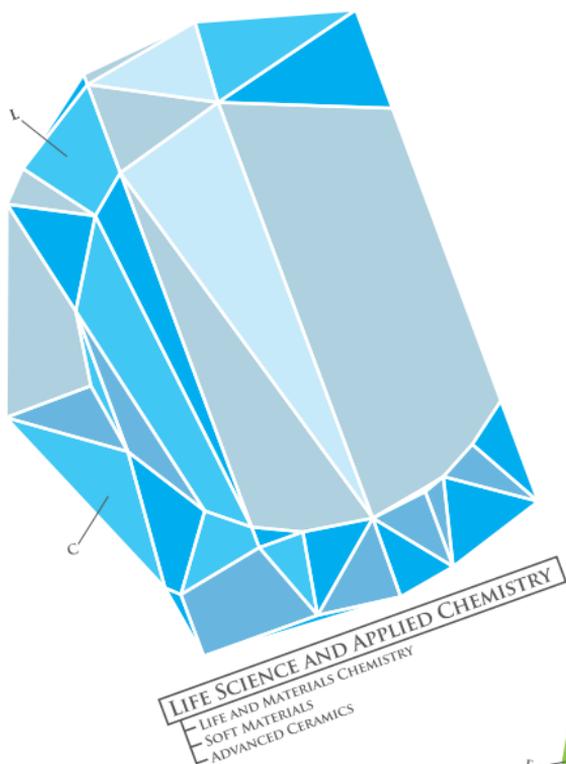


国立大学法人
名古屋工業大学
 Nagoya Institute of Technology

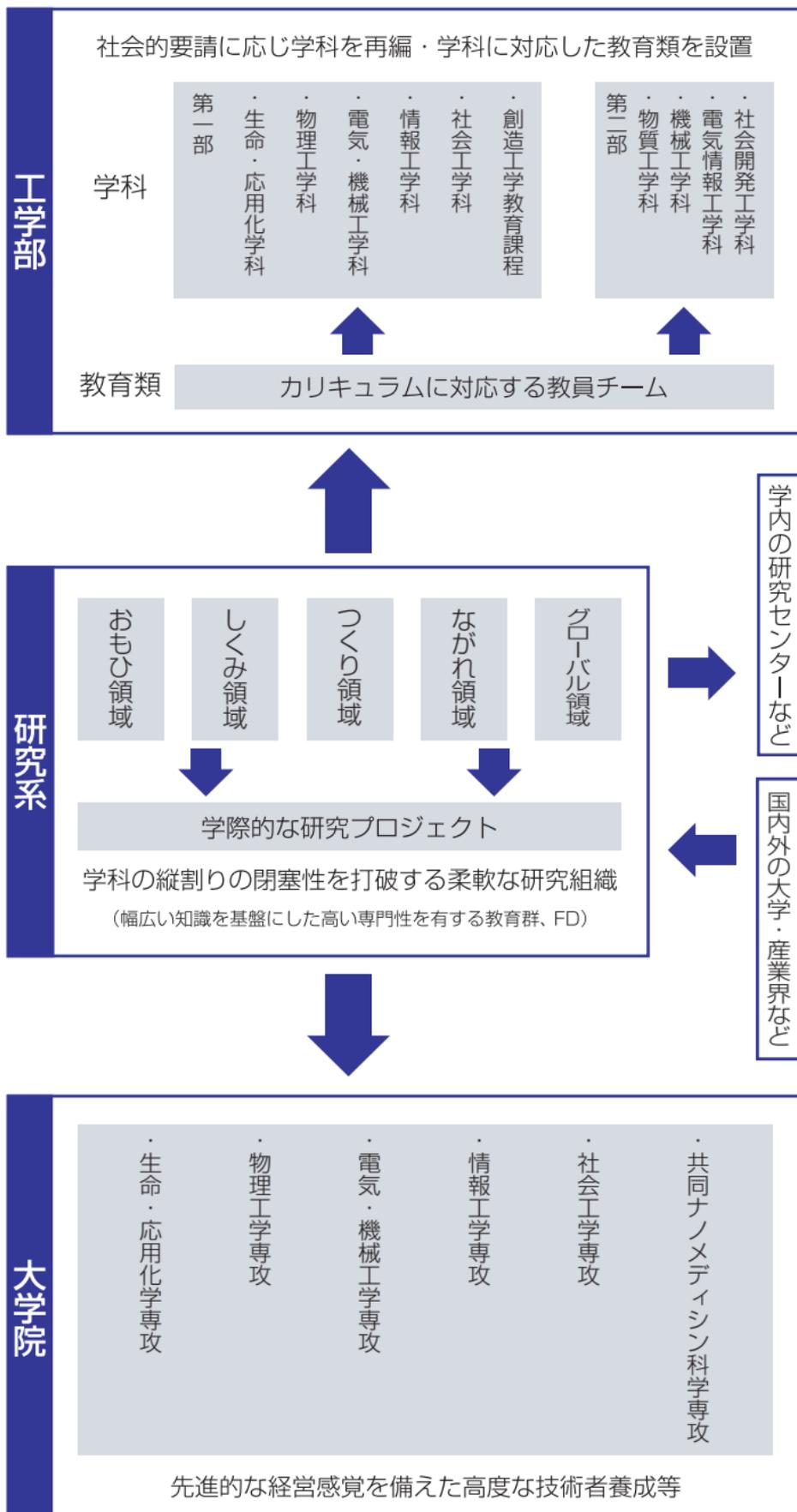
DATA BOOK
 2017-2018



教員組織

教員組織として「領域」を設置

従来の縦割り学問分野による学科組織から離れて、異分野の教員が交流する横断的、学際的な組織であり、研究系組織として大学院に置くものです。領域は、「おもひ」、「しくみ」、「つくり」、「ながれ」という四つの領域があります。各教員は、このいずれかの領域に所属し、教員同士が互いに刺激し合うことで、新たな学際的な研究プロジェクトがたちあがることを期待するものです。また平成28年度には本学のグローバル教育研究改革・機能強化を強力に推進するために雇用する海外有力大学からの教育研究ユニットの研究者、学長のリーダーシップにより本学の研究力強化を目的として採用する教員を配属する新たな領域として、「グローバル」領域が設置されました。



100年にわたる伝統の上に新たな風を

明治38年3月28日 創設
名古屋高等工業学校

昭和18年2月16日 創設
愛知県立高等工業学校

昭和19年4月1日 改称
名古屋工業専門学校

昭和19年6月1日 改称
愛知県立工業専門学校

昭和24年5月31日
名古屋工業大学

平成16年4月1日
国立大学法人 名古屋工業大学

- 名古屋工業大学は、明治38年創設の名古屋高等工業学校と、昭和18年創設の愛知県立高等工業学校が合併し、昭和24年に新制大学として発足しました。
- 平成16年に「国立大学法人名古屋工業大学」として新たに発足しました。

第一部5学科、1課程、第二部4学科、大学院6専攻の工学系の単科大学

工学部第一部

5学科、1課程

生命・応用化学科
物理工学科
電気・機械工学科
情報工学科
社会工学科
創造工学教育課程

工学部第二部

4学科

物質工学科
機械工学科
電気情報工学科
社会開発工学科

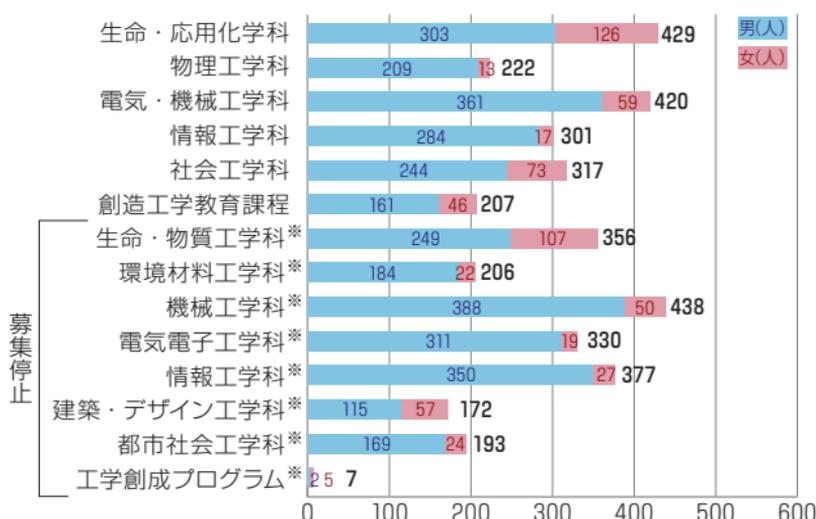
大学院工学研究科

6専攻

生命・応用化学専攻
物理工学専攻
電気・機械工学専攻
情報工学専攻
社会工学専攻
共同ナノメディシン科学専攻
(博士後期課程のみ)

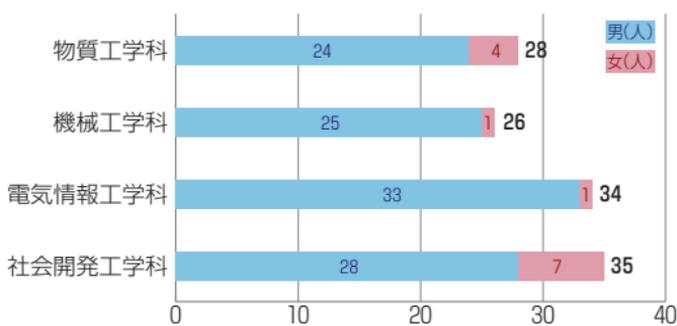
5,727人が在学中 そのうち約16%が女子

◆工学部(第一部) 計3,975人



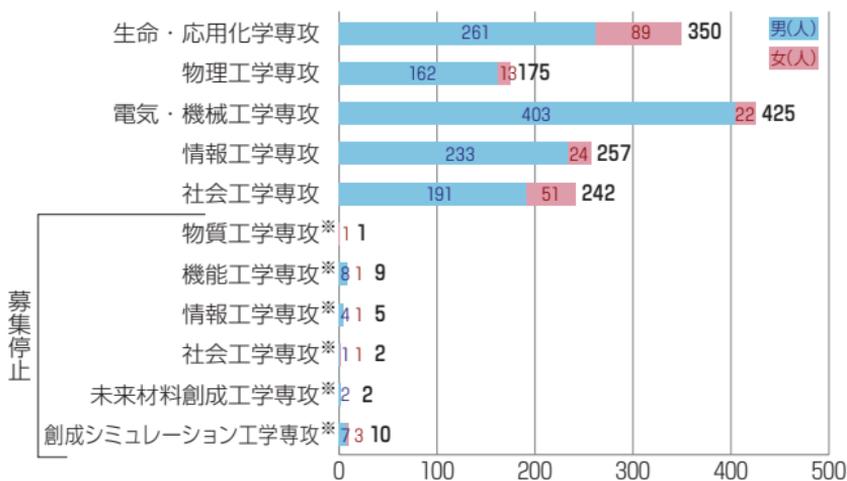
注：平成28年4月学科改組を実施。※印は、改組前の学科を指す。

◆工学部(第二部) 計123人



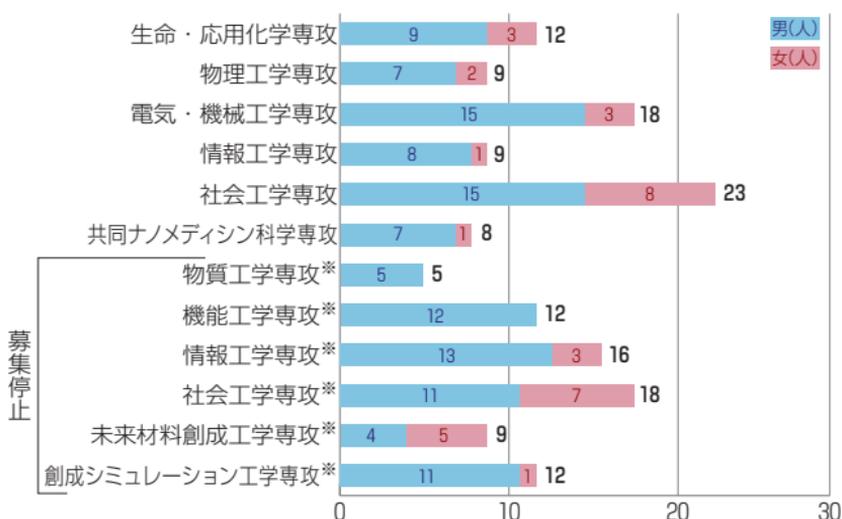
◆大学院工学研究科 計1,629人

博士前期課程 計1,478人



注：平成28年4月専攻改組を実施。※印は、改組前の専攻を指す。

博士後期課程 計151人



注：平成28年4月専攻改組を実施。※印は、改組前の専攻を指す。

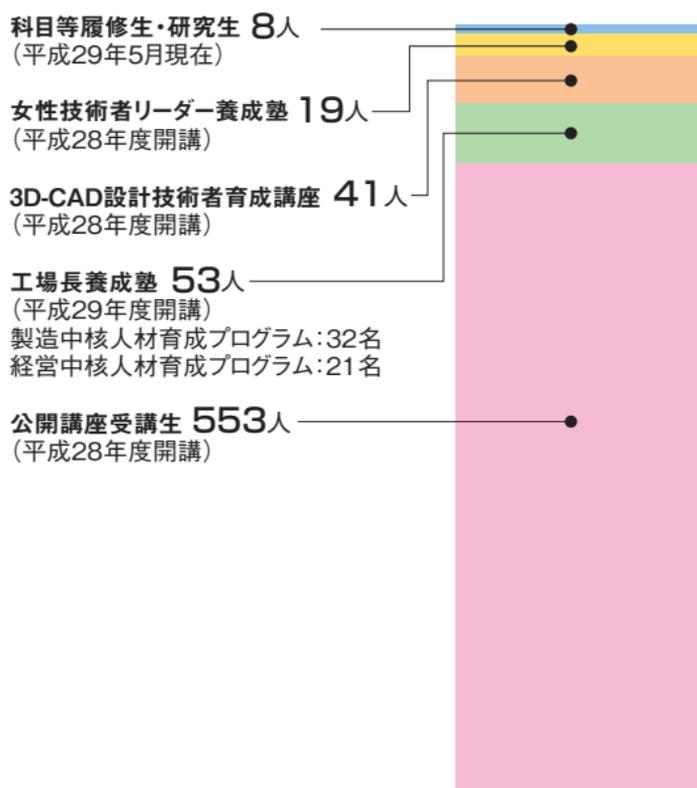
■平成29年度志願倍率は、第一部前期日程3.4倍、第一部後期日程7.0倍、第二部6.3倍、大学院博士前期課程1.5倍、大学院博士後期課程0.9倍となっています。

| 区 分 | | 募集人員 | 志願者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|----------------------|------------------|-------|-------------|-------------|-------------|
| 工 学 部 (第一部) | 推薦 | 116 | 306 (135) | 123 (49) | 123 (49) |
| | AO入試 | 3 | 3 (1) | 2 (0) | 2 (0) |
| | 前期日程 | 485 | 1,656 (284) | 534 (69) | 523 (67) |
| | 後期日程 | 306 | 2,134 (347) | 359 (59) | 279 (48) |
| | 私費外国人 留学生特別入試 | 若干名 | 114 (24) | 28 (6) | 14 (2) |
| | 国費・政費 | 若干名 | 9 (4) | 9 (4) | 9 (4) |
| | 日韓 | 若干名 | 5 (1) | 5 (1) | 5 (1) |
| 工 学 部 (第二部) | | 20 | 125 (16) | 26 (3) | 23 (2) |
| 大学院工学研究科 (博士前期課程) | | 586 | 906 (109) | 787 (103) | 742 (102) |
| 大学院工学研究科 (博士後期課程) | | 42 | 36 (10) | 34 (9) | 32 (9) |
| 合 計 | | 1,558 | 5,294 (931) | 1,907 (303) | 1,752 (284) |

注：() は、女子数を内数で示す。

様々な形で生涯学習を行っています

◆社会人数



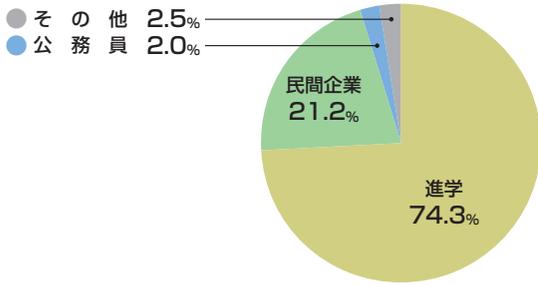
■博士前期課程、博士後期課程にも計112人の社会人が在籍しています。

7 卒業後の進路

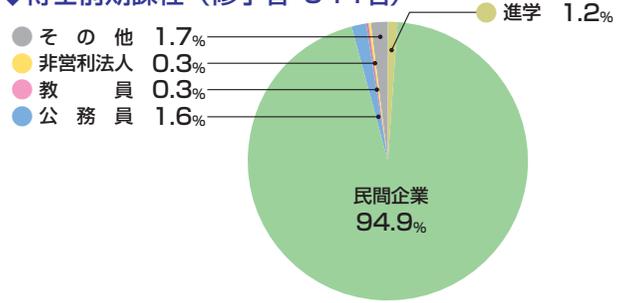
学部卒業者の73.2%が大学院へ

【学部・大学院別進路状況(平成28年度卒業・修了者)】

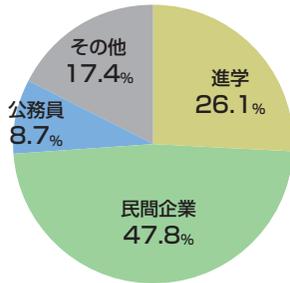
◆第一部 (卒業者 942名)



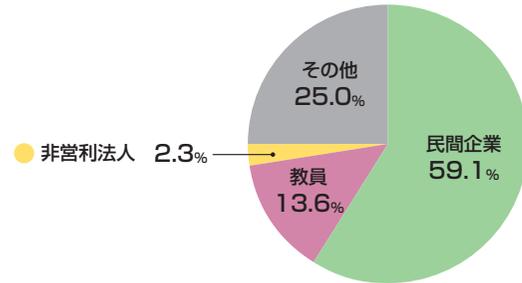
◆博士前期課程 (修了者 644名)



◆第二部 (卒業者 23名)



◆博士後期課程 (修了者 44名)



◆主な就職先

| 区分 | 学部 (一部・二部) | | 大学院博士課程 (前期・後期) | | | |
|-----|----------------|----|-------------------|-----|------------------------------|----|
| 産業界 | トヨタ自動車 | 5名 | デンソー | 23名 | メイテツコム | 4名 |
| | エヌ・ティ・ティ・データ東海 | 5名 | アイシン精機 | 22名 | 西日本旅客鉄道 | 4名 |
| | 大成建設 | 4名 | トヨタ自動車 | 18名 | JSR | 4名 |
| | トヨタ紡織 | 3名 | 豊田自動織機 | 15名 | アイカ工業 | 4名 |
| | 東海理化 | 3名 | アイシン・エイ・ダブリュ | 14名 | シマノ | 4名 |
| | オークマ | 3名 | ブラザー工業 | 9名 | ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ | 4名 |
| | 本田技研工業 | 3名 | トヨタ紡織 | 8名 | デンソーウェーブ | 4名 |
| | ニッセイ | 3名 | トヨタ車体 | 8名 | ノリタケカンパニーリミテド | 4名 |
| | ヤマハ発動機 | 3名 | マキタ | 8名 | パナソニック エコシステムズ | 4名 |
| | アイシン精機 | 2名 | 日本特殊陶業 | 8名 | 三菱重工業 | 4名 |
| | トヨタ車体 | 2名 | アドヴィックス | 7名 | 小糸製作所 | 4名 |
| | 富士機械製造 | 2名 | 三菱電機メカトロニクスソフトウェア | 7名 | 新日鐵住金 | 4名 |
| | ジェイテクト | 2名 | 清水建設 | 7名 | 大同メタル工業 | 4名 |
| | 村田製作所 | 2名 | リンナイ | 7名 | 大同特殊鋼 | 4名 |
| | 大林組 | 2名 | 東海理化 | 6名 | 東邦ガス | 4名 |
| | 中部電力 | 2名 | 富士機械製造 | 6名 | 日立製作所 | 4名 |
| | 東海旅客鉄道 | 2名 | 川崎重工業 | 6名 | 富士通 | 4名 |
| | SCSK | 2名 | 豊田合成 | 6名 | エヌ・ティ・ティ・データ東海 | 3名 |
| | アイヴィス | 2名 | パナソニック | 6名 | 大成建設 | 3名 |
| | 旭化成ホームズ | 2名 | 三菱電機 | 6名 | 大林組 | 3名 |
| | 住友林業 | 2名 | 住友理工 | 6名 | 中部電力 | 3名 |
| | 小島プレス工業 | 2名 | CKD | 5名 | 住友電装 | 3名 |
| | 積水ハウス | 2名 | 日本ガイシ | 5名 | 竹中工務店 | 3名 |
| | アビームシステムズ | 2名 | オークマ | 4名 | 名古屋鉄道 | 3名 |
| | 愛三工業 | 2名 | 本田技研工業 | 4名 | エヌ・ティ・ティ・データ | 3名 |
| | 愛知銀行 | 2名 | ジェイテクト | 4名 | セイコーエプソン | 3名 |
| | 鴻池組 | 2名 | 村田製作所 | 4名 | 愛知製鋼 | 3名 |

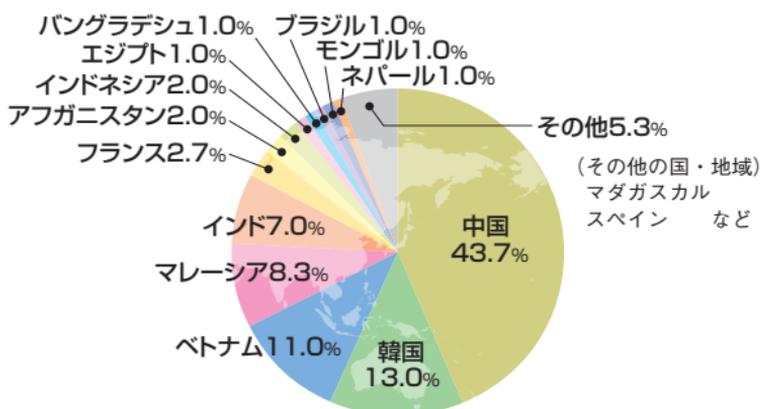
| 区分 | 学部 (一部・二部) | | 大学院博士課程 (前期・後期) | |
|------------------|--------------|----|-----------------|----|
| 非官 営利公 法人庁 | 名古屋市 | 7名 | 愛知県 | 3名 |
| | 愛知県 | 3名 | 一宮市 | 1名 |
| | 一宮市 | 1名 | 愛媛県 | 1名 |
| | 岐阜市 | 1名 | 横浜市 | 1名 |
| | 気象庁 | 1名 | 大府市 | 1名 |
| | 警視庁 | 1名 | 津島市 | 1名 |
| | 国土交通省中部地方整備局 | 1名 | 東京都 | 1名 |
| | 三重県 | 1名 | 奈良県教育委員会事務局 | 1名 |
| | 防衛省・自衛隊 | 1名 | 鉄道総合技術研究所 | 1名 |
| | 福井県 | 1名 | 文化財建造物保存技術協会 | 1名 |

注：同人数の就職先は五十音順とする。官公庁は、教育機関を除く。

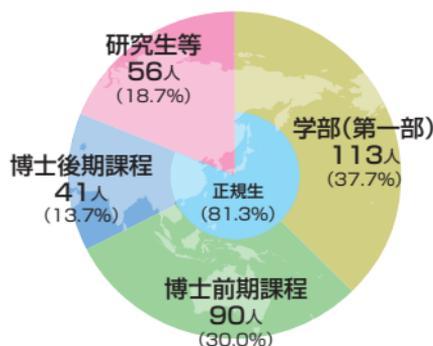
外国人留学生は300人 31の国と地域57大学等と 交流協定締結

■名古屋工業大学で学ぶ留学生は、世界27の国と地域からの300人です。うち91%に当たる273人がアジア地域からの留学生です。中でも中国からの留学生が一番多く、131人を数えます。

◆留学生の国別割合



◆留学生の区分別割合



◆国際化推進事業

国際化推進事業は、本学の学生が、海外の企業、高等教育機関、研究所等で、国際インターンシップや教育・研究活動に従事し、広範な基礎的・革新的知見、特殊技能・技術、より高度な論文作成力及び外国語による発表能力について研鑽を積むことを支援しています。

国際化の基盤作り強化と、国際的視野に富む有能な人材育成を推進するものです。

また、本事業は、一般社団法人名古屋工業会からの寄附金に基づき、実施しています。

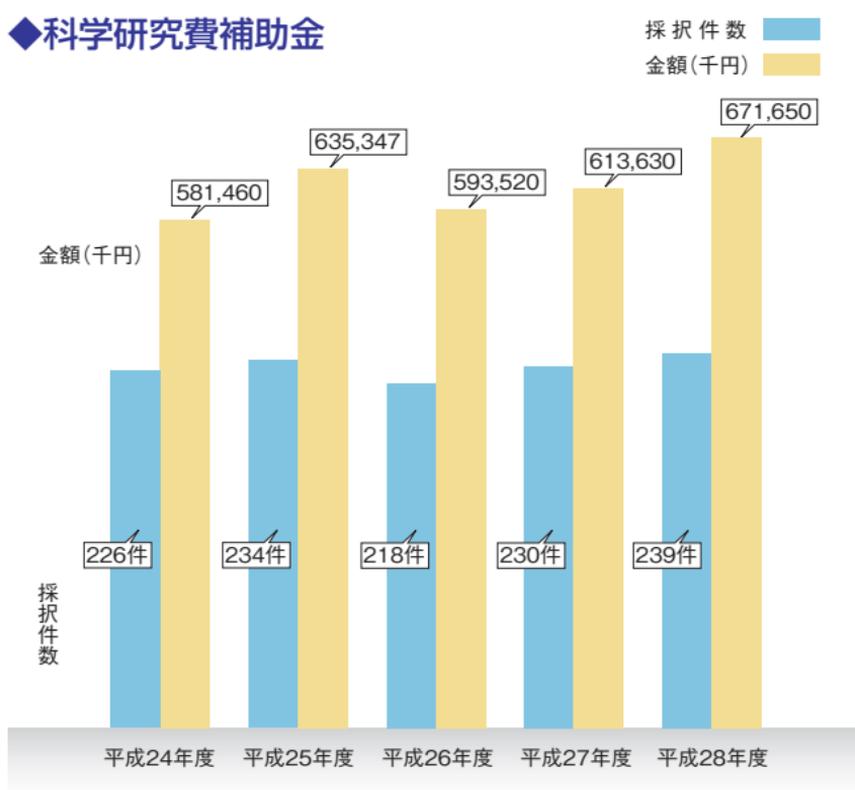
平成28年度

| 国・地域 | 人数 |
|---------|----|
| アメリカ | 2 |
| イギリス | 2 |
| イタリア | 3 |
| オーストラリア | 2 |
| オランダ | 1 |
| シンガポール | 1 |
| スペイン | 2 |
| ドイツ | 10 |
| ハンガリー | 1 |
| フィンランド | 1 |
| フランス | 3 |
| ポーランド | 1 |
| マレーシア | 4 |
| 総派遣者数 | 33 |

採択件数239件 6億7,165万円

■科学研究費助成事業は、我が国の学術を振興するため、人文・社会科学から自然科学まであらゆる分野における優れた独創的・先駆的な研究を格段に発展させることを目的とする研究助成費であり、大学等の学術研究を推進し、我が国の基盤研究を形成するための重要な経費です。

◆科学研究費補助金



多くの共同研究・受託研究を実施

◆共同研究



◆受託研究



「共同研究」とは、企業等から研究者と研究経費を受け入れて、本学の教員と共通の課題について共同で行う研究です。

「受託研究」とは、学外機関等からの委託を受けて大学として行う研究で、これに要する経費を委託者が負担するものです。

◆知的財産収入

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 特許権等 | 16,398 | 10,263 | 17,014 | 12,888 | 13,486 |
| 著作権 | 0 | 158 | 661 | 236 | 157 |
| ノウハウ | 878 | 106 | 3,176 | 4,320 | 6,122 |
| 有体物 | 4,962 | 4,550 | 11,240 | 2,509 | 1,410 |
| 合計 | 22,238 | 15,077 | 32,091 | 19,953 | 21,175 |

金額(千円)

- プロジェクト研究所は、学際プロジェクトや産学官連携に資する研究を推進するもので、事業に要する経費は、各年度2,000万円以上の外部資金をもって充て、設置期間は3年以上5年以下とすることを設置の条件としています。平成29年4月現在設置されている研究所の名称、研究代表者（プロジェクト研究所長）は以下のとおりです。

| 研究所の名称 | 研究代表者 (研究所長) |
|-------------------------|-----------------|
| エネルギー触媒開発研究所 | 小澤 智宏 |
| 名工大スマートマテリアル創成研究所 | 日原 岳彦 |
| 粉体科学研究所 | 藤 正督 |
| 窒化ガリウムパワーデバイス研究所 | 江川 孝志 |
| 未来医療介護健康情報学研究所 | 加藤 昇平 |
| 先端研究基盤共用促進研究所 | 江龍 修 |
| 生体・電磁環境研究所 | 王 建青 |
| 次世代耐震工学研究所 | 小畑 誠 |
| コレクティブインテリジェンス研究所 | 伊藤 孝行 |
| バイオセラミックス研究所 | 春日 敏宏 |
| 藤本技術総研融合システム研究所 | 青木 純 |
| 日本ガイシ マテリアルイノベーション研究所 | 森 秀樹 |
| 無焼成セラミックス研究所 | 藤 正督 |
| 表面反応化学研究所 | 白井 孝 |
| 接着・接合研究所 | 山下 啓司 |
| 国際音声言語技術研究所 | 徳田 恵一 |
| ビアメカニクス 次世代モーションシステム研究所 | 岩崎 誠 |

注：設置順

蔵書数は約47万8千冊

◆蔵書総数

和書 265,741

洋書 212,699

合計 478,440

このほかに 雑誌 5,539 種類

電子ブック 20,316 冊

電子ジャーナル 7,984 種類

◆学外利用者数

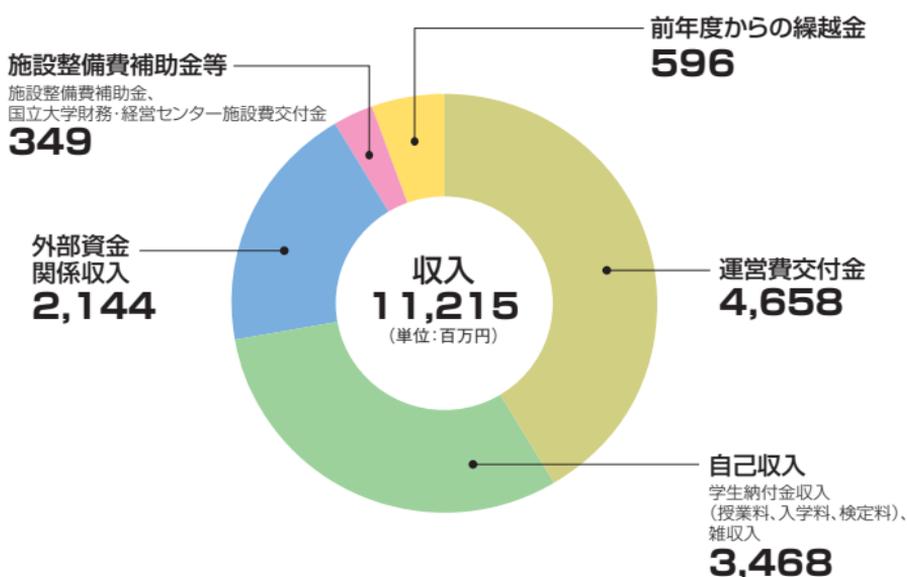
平成28年度 3,276人

- 名古屋工業大学附属図書館の蔵書は、和書約26万6千冊、洋書21万2千冊、合わせて約47万8千冊にのびています。

- 市民への開放も積極的に実施しています。

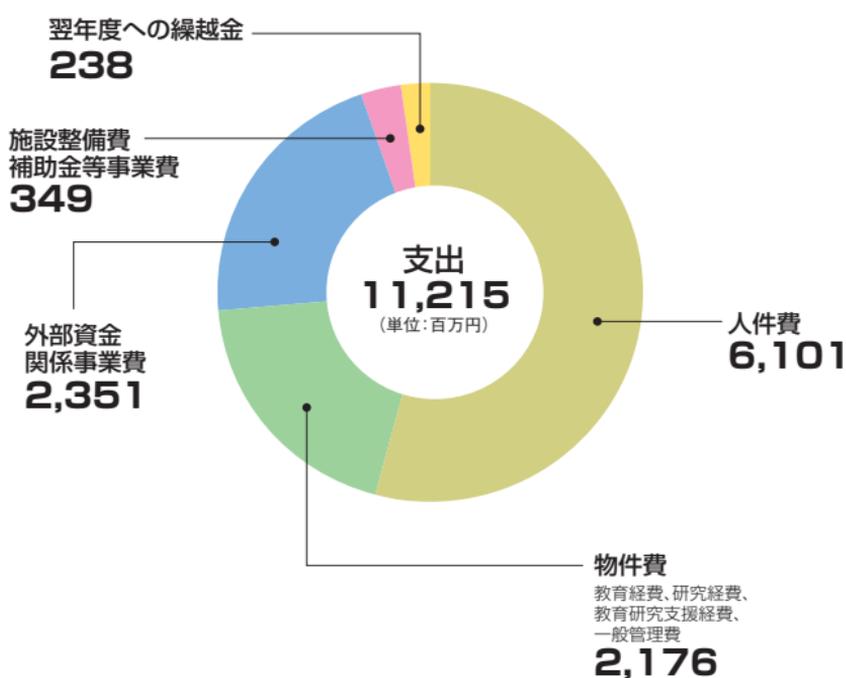
- 「名古屋工業大学学術機関リポジトリ」から博士論文など本学で作成された学術論文をご覧ください。

平成28年度財政状況(百万円未満四捨五入)



注1: 外部資金関係収入については、〈外部資金関係内訳〉を参照。

注2: 前年度からの繰越金については、平成28年度支出分のみを記載。



◆外部資金関係内訳

(単位:百万円)

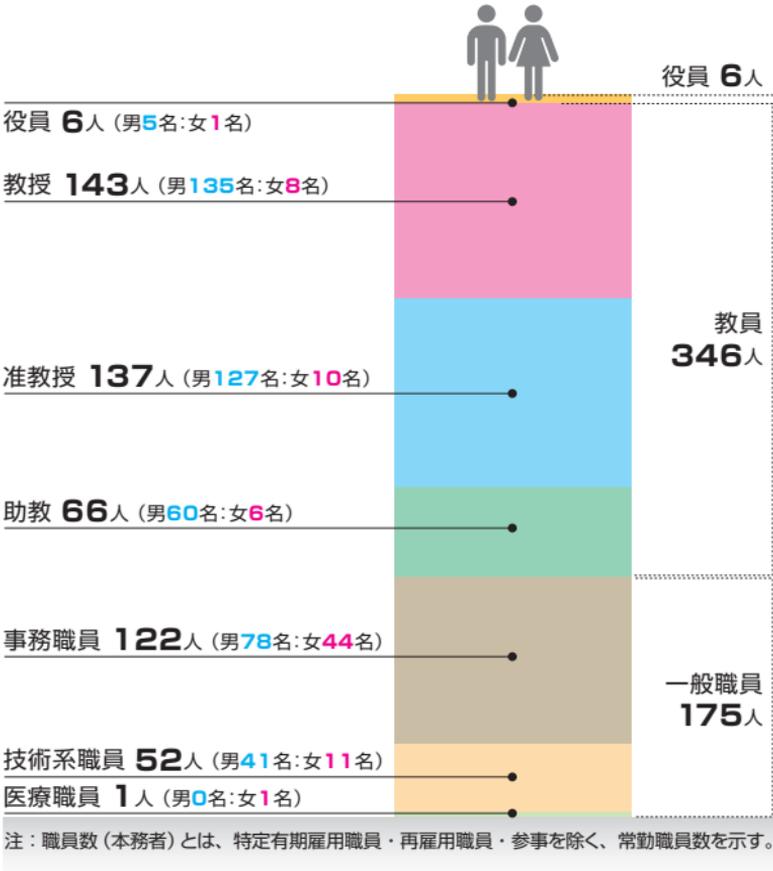
| 区 分 | 件 数 | 決 算 額 |
|-----------------------------|-------|-------|
| 寄 附 金 | 468 | 236 |
| 受 託 研 究 費 | 102 | 666 |
| 共 同 研 究 費 | 254 | 757 |
| 受 託 事 業 費 | 8 | 84 |
| 共 同 事 業 費 | 1 | 0 |
| ぞん技術革新センター運営協議会 共同研究助成事業助成金 | 2 | 3 |
| 医療研究開発推進事業費補助金 | 1 | 4 |
| 科学技術人材育成費補助金 | 3 | 47 |
| 研究拠点形成費等補助金 | 1 | 31 |
| 国立大学改革強化推進補助金 | 1 | 100 |
| 住宅市場整備推進等事業費補助金 | 1 | 4 |
| 戦略的国際研究交流推進事業費補助金 | 2 | 48 |
| 中小企業経営支援等対策費補助金 | 2 | 13 |
| 中小企業知的財産活動支援事業費補助金 | 1 | 4 |
| 間接経費(科学研究費補助金等) | 318 | 147 |
| 計 | 1,165 | 2,144 |

注1: 寄附金の決算額には、未収収益等を含む。

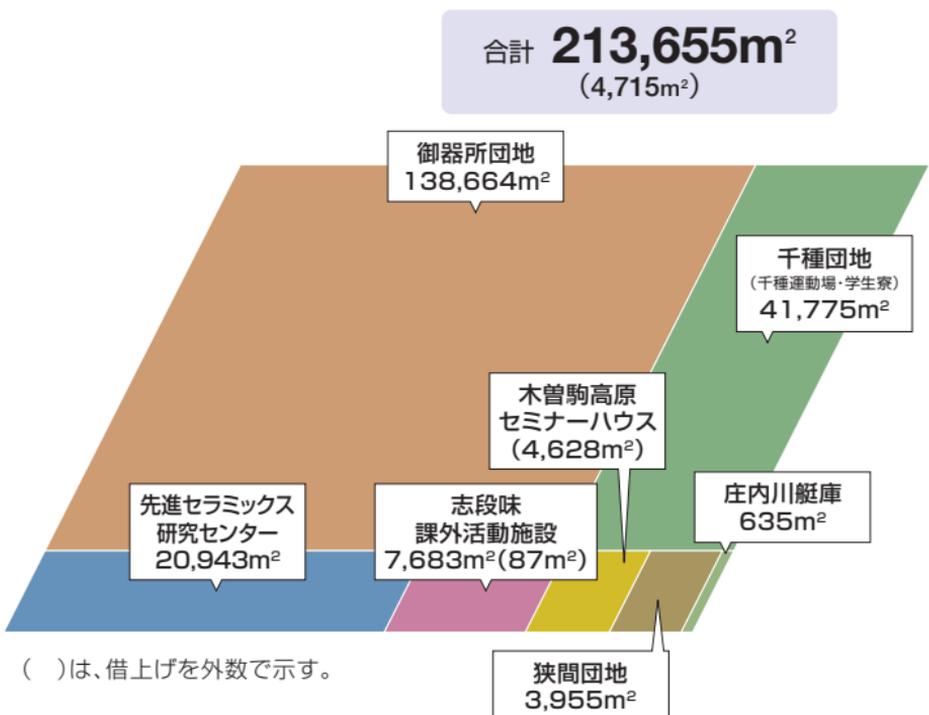
注2: 件数は、平成28年度内に受け入れたもの(未収を含む)を対象とする。

527人のスタッフが大学を支えています

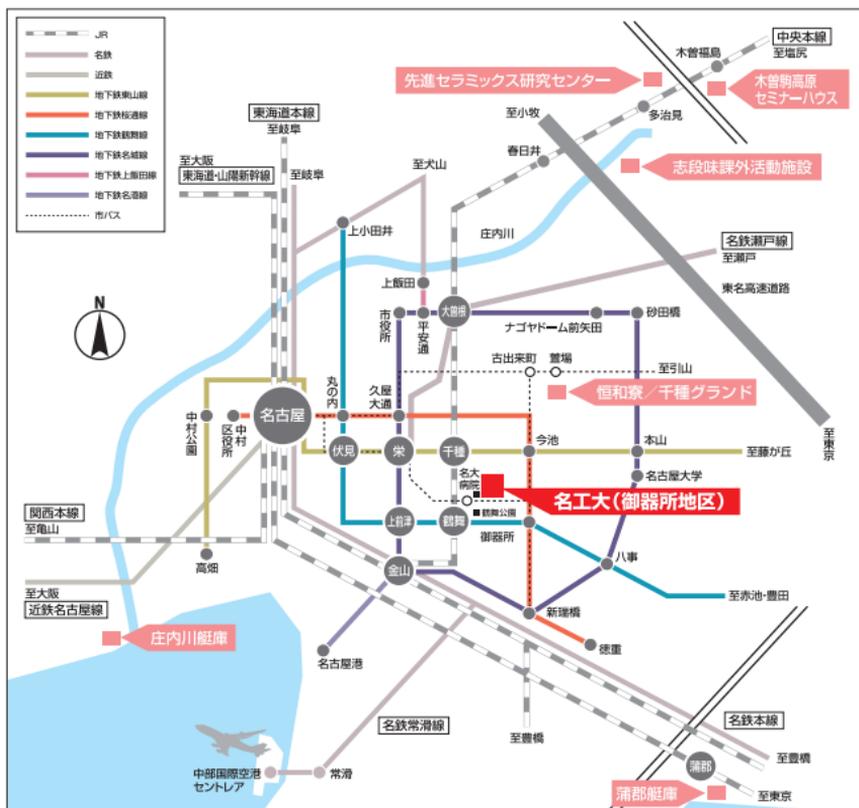
- 大学は教育研究機関という性格上、多くのスタッフを抱えており、名古屋工業大学におけるスタッフの総数は527人です。そのうち、スタッフ(専任のみ)の65.7%が教員です。
- 教員のうち24人(6.9%)、一般職員のうち56人(32%)が女性で、全体の15.4%を占めています。

総面積は約21.3万 m²

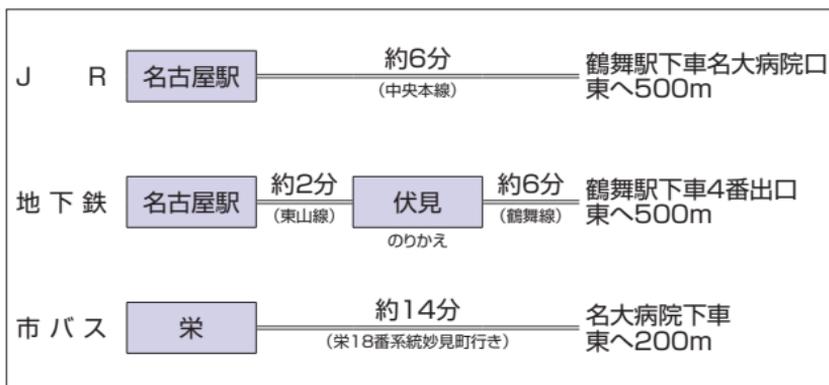
- 名古屋工業大学の総面積は約21.3万 m²です。それ以外に4,715m²を借上げています。
- 敷地は、御器所団地(昭和区)と千種団地(千種区)に分かれており、庄内川艇庫(中川区)、志段味課外活動施設(守山区)などが名古屋市内にあります。また、先進セラミックス研究センターが岐阜県多治見市に、木曾駒高原セミナーハウスが長野県木曾郡木曾町にあります。



◆位置図



◆名古屋工業大学(御器所地区)への経路



◆キャンパスマップ



名古屋工業大学憲章

基本使命

名古屋工業大学は、日本の産業中心地を興し育てることを目的とした中部地域初の官立高等教育機関として設立されたことを尊び、常に新たな産業と文化の揺籃として、革新的な学術・技術を創造し、有為な人材を育成し、これからの社会の平和と幸福に貢献することをその基本使命とする。

ものづくり



名古屋工業大学は、構成員の自由な発想に基づく実践的かつ創造的な研究活動を尊ぶとともに地球規模での研究連携を推進し、既存の工学の枠組みにとらわれることなく、工学が本来有する無限の可能性を信じ、新たな価値の創造に挑戦する。

ひとづくり



名古屋工業大学は、自ら発見し、創造し、挑戦し、行動することで、工学を礎に新たな学術・技術を創成し世界を変革することのできる個性豊かで国際性に富んだ先導的な人材の育成に専心する。

未来づくり



名古屋工業大学は、国民から負託を受けた開かれた大学として地域および国際社会との調和と連携を重視し、ものづくりとひとづくりを通して平和で幸福な未来社会の実現に向けて邁進する。

- 1 沿革
- 2 学部・大学院
- 3 学生数
- 4 入学者出身高校所在地
- 5 入学状況
- 6 生涯学習
- 7 卒業後の進路
- 8 外国人留学生・国際交流
- 9 科学研究費助成事業
- 10 共同研究・受託研究
- 11 プロジェクト研究所
- 12 附属図書館
- 13 財政状況
- 14 役員・教職員数
- 15 キャンパス面積
- 16 アクセス

国立大学法人

名古屋工業大学 DATA BOOK

2017年7月発行

発行 | 名古屋工業大学

所在地 | 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

TEL | 052-735-5000

URL | <http://www.nitech.ac.jp>

編集 | 名古屋工業大学IR(Institutional Research)室